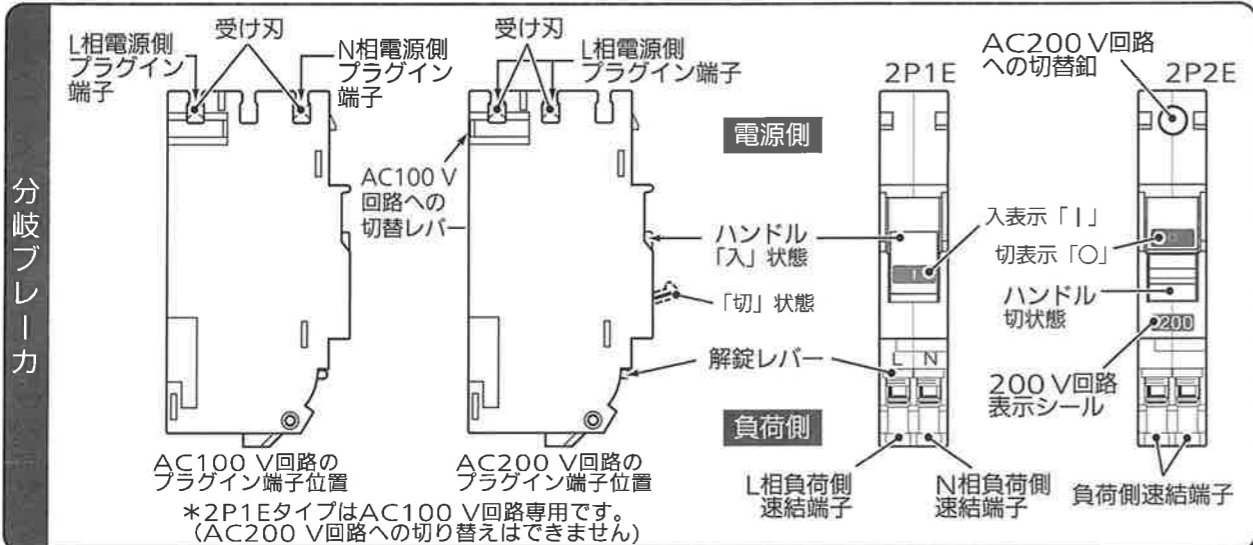
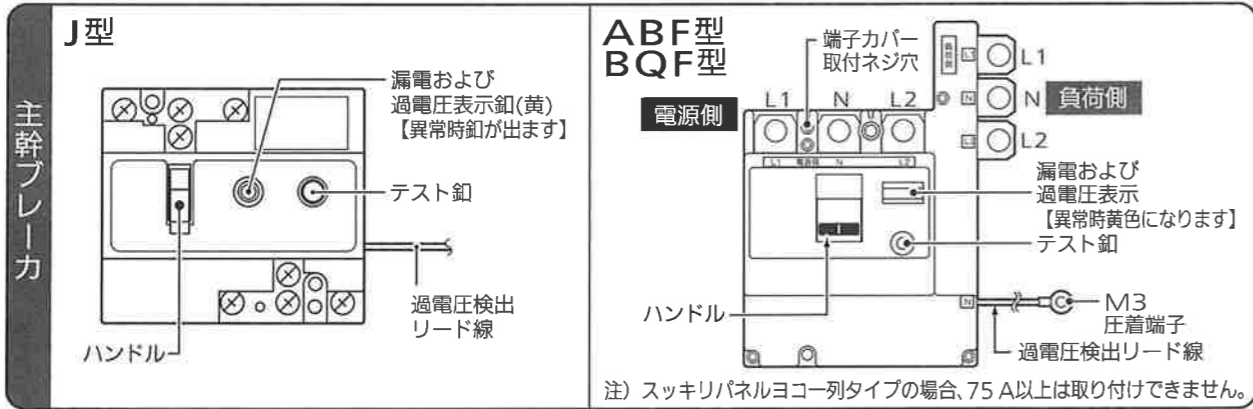


■各部のなまえ (ブレーカ)



【分岐ブレーカ速結端子への電線接続について】 *Cu(銅)単線専用 (より線の場合は棒圧着端子使用)【下表参照】

- 電線の被覆をむく。
〔本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく〕
- 電線を差し込む。
〔電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込む〕

注) ●電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。電線をむき直してから接続してください。
●オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、接続し直してください。

*電線を抜く場合は、解錠レバーを矢印方向(←)に押しながら電線を引いてください。
〔φ2.6および8.0 mm²電線は抜きにくい場合があります。そのときは本体を分電盤から取り外し、電線を抜いてください〕

注) 解錠レバーの操作力は約7 Nです。押し込み荷重が高すぎる(100 N以上)と破損にいたる場合があります。

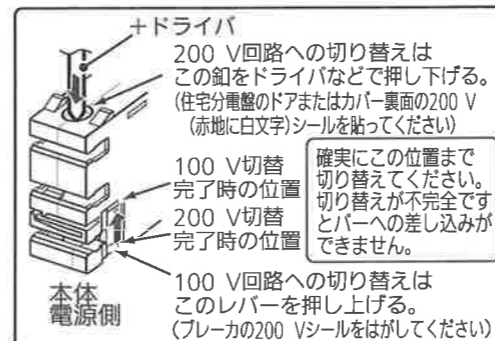
- 100 V回路の場合、分岐ブレーカ負荷側端子のL相とN相を正しく接続してください。

■分岐ブレーカの取り付け・取り外し

【取り付け前に (2P2Eタイプのみ)】

- プラグイン端子の受け刃の位置を確認してください。
〔負荷の使用電圧に合わせ、受け刃の位置を切り替えてください。住宅分電盤に取り付けた状態では切り替えできません〕

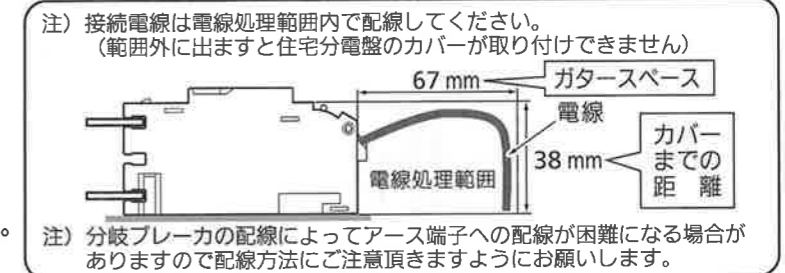
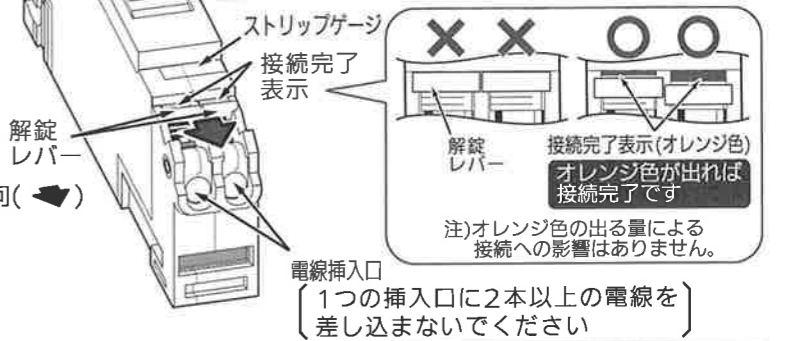
《切り替え方法》



■アース端子への電線接続

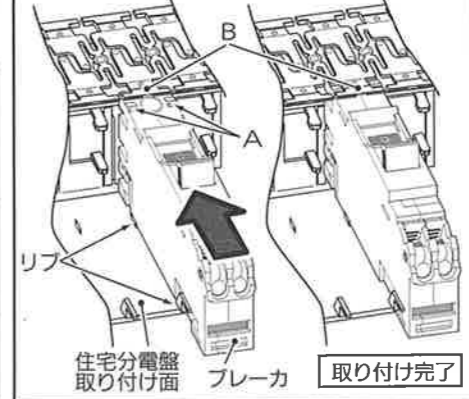
- 速結アース端子への接続はアース線をストリップゲージに合わせ15 mmむき、奥まで確実に差し込んでください。
*接続電線：φ1.6・φ2.0・φ2.6 Cu(銅)単線専用
- 端子ねじへ接続する場合の接続電線は最大5.5 mm²です。(圧着端子を使用してください) 適正締付トルク 1.6~2.0 N・m
- アース線を抜く場合は、解錠穴へφ1.6~2.2の丸棒(精密ドライバー・単線電線φ2.0など)を約6 mm挿入し、押しながらアース線を抜いてください。

接続可能電線	適合棒圧着端子品番	注意事項		
Cu(銅)単線	WV2502	TC-2-20 VC-1-2	φ1.6	定格電流30 Aは接続不可
			φ2.0	
			φ2.6	
Cu(銅)より線	B B9921	B B9923	1.25 mm ²	定格電流20・30 Aは接続不可
			2.0 mm ²	
			3.5 mm ²	
			5.5 mm ²	
8.0 mm ²				



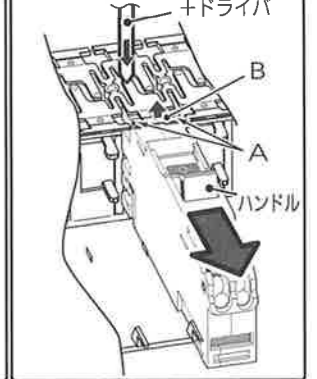
■取り付け

- 住宅分電盤取り付け面のリブにブレーカを合わせ、バーに対して水平に奥まで差し込んでください。
〔B部がブレーカのA部を乗り越えるまで差し込む〕



■取り外し

- 下図の位置を+ドライバーで押し下げてください。
〔B部がブレーカのA部に乗り上げるまで押し込む〕その状態でブレーカのハンドルに指を掛け、負荷側へ水平に引いて外します。



⚠ 注意

●以下の項目を厳守してください
~守らないと、火災のおそれがあります~

■接続上のご注意

【主幹ブレーカへの電線接続について】

- 《主幹ブレーカJ型》
- 端子は当金付構造です。電線(より線)の先端の半田上げや、バインドはしないでください。
 - 複数の電線を接続しないでください。
 - 接続電線のよりをほぐし、芯線をそろえてから電線の被覆をかまないように接続してください。
- 《主幹ブレーカABF・BQF型》
- 端子は圧着端子専用です。適合圧着端子を使用し、接続してください。

定格電流	適合圧着端子
30A	8-6 (同梱)
40A~60A	14-6 (同梱) 22-6S
75A	CB22-6S (同梱) CB38-6N
100A	38-8S (同梱)

- 《共通項目》
- 端子ネジは適正締付トルクで確実に締付けてください。
〔接続不良は、発熱・発火の原因や中性線欠相事故による負荷機器の故障の原因になります〕

ブレーカタイプ	フレーム	ネジ径	適正締付トルクN・m
J型	30AF	M5	1.6~2.0
ABF型 BQF型	50AF・60AF・75AF	M6	4.0~5.0
	100AF	M8	5.0~7.0

- 単相3線式の中性線を中極に、電圧線(200 V)を両端極に接続してください。(単相3線式専用です。単相2線式回路などには使用できません)
- 施工時、機器内部に異物(電線クズや壁材など)が入らないようにしてください。
- 施工完了後、端子カバーを確実に取り付けてください。
- 工事完了後、ハンドルを入「I」にしてからテスト釦を押して、動作の確認をしてください。

■送り端子への電線接続 (スッキリパネルヨコー列タイプ)には送り端子はありません

- 送り端子 (M6) への接続は、送り端子 (M6) 圧着端子を使用してください。
- 端子ネジは適正締付トルクで確実に接続してください。
- 適正締付トルク 4.0~5.0 N・m
- 接続後は保護カバーを確実に取り付けてください。

